

## フランクリンの 道徳帳簿

## 選択

- ・ 人生には悩み事が絶えない。
- ・ 難しい選択をしなければならないときもある
- ・ 正しい選択や決断をする手段はあるだろうか？ 少なくとも納得できる選択をするにはどうしたらいいか？

## フランクリンの決断方法



アメリカ建国の父ベンジャミン・フランクリン(1706-1790)のジョセフ・プリーストリーへの手紙(1772)



ベンジャミン・フランクリン(1706-1790)

アメリカ建国の父。実業家、政治家、科学者。

『フランクリン自伝』  
はおもしろい。

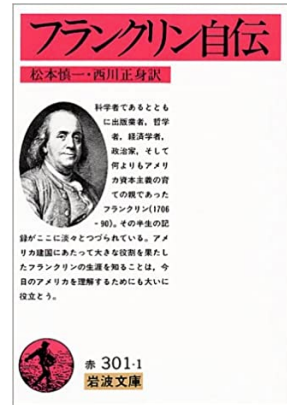


プリーストリー(1733-1804)

イギリスの科学者・哲学者。

酸素の発見、炭酸水の  
発明、電気学の開発。

「君がアドバイスをもとめた問題については私は前提条件を十分に知らないの、どうしたらよいか助言することはできない。しかし、もしお望みなら、どうやって決断すればよいかをお教えしよう。」



「こういう難しいことが起こるとき、問題が難しいのは、賛成と反対のすべての理由を心に一度に思い浮かべておくのが難しいからだ。一つのことが頭に浮かんでいるとき、他のことは視界から消えてしまう。さまざまな目的とか欲望とかが次々に心に現われては心をいっぱいにして、私たちをとまどわせるのだ。」

「こういう困難を克服するために私がやるのは、一枚の紙を二つの列に分けて、片方に賛成意見を、片方に反対意見を書き出すことだ。つぎに数日かけて、いろいろな見出しで賛成の側、反対の側それぞれに、理由を追加していくのである。」

「こうしてすべて書き出したのちに、それぞれの重みを検討してみる。同じくらいの重さのものを両方に見つけたら、両方に線を引いて消していく。2つの理由が反対の3つの理由に見合っていると思えば、その5つ全部を消すのだ。」

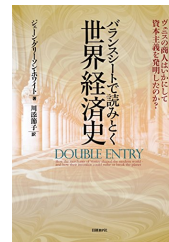
フランクリン『自伝』は正岡子規の愛読書

「こうして続けていくと、  
やっとな天秤がどちらに傾くか  
がわかるのだ。そして、一日  
二日したあとで、もう何も大  
事な新しいことが思いつかな  
くなら、もう決断するこ  
とができる。」



「理由の重みは数学の計算のように正確なもの  
ではないが、こうして別々に比較してみて、全  
体を目にすれば、私はまずまずうまく判断でき  
ると思うし、せっかちにまちがった判断をせず  
にすむ。実際私はこうした計算からずいぶん恩  
恵を受けたものだ。私はこれを道徳的算術とか  
思慮の算術とか呼んでいるよ。君が最善の決断  
ができることを願っているよ。」

- 実業家・実務家で  
あったフランクリ  
ンは会計に詳し  
かった。複式簿記  
の発想は、世界  
史・思想史的に重  
要。

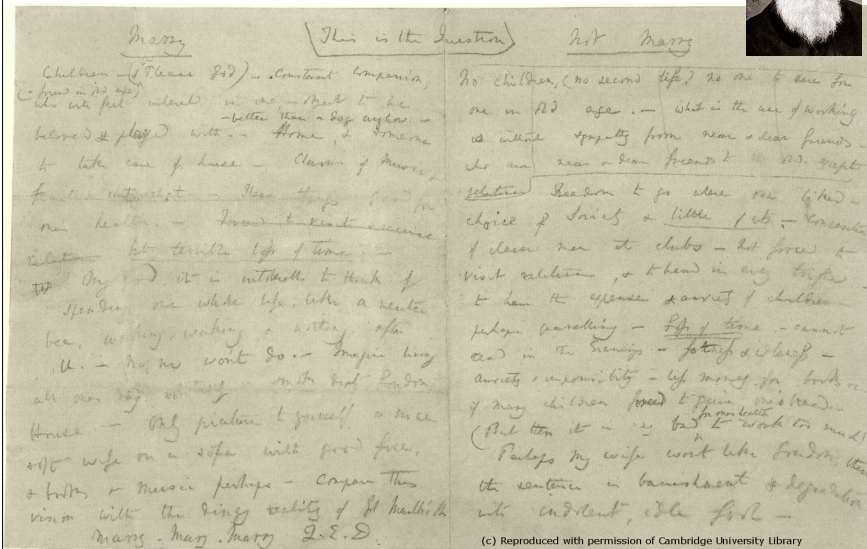


## チャールズ・ダーウィン



- のちに偉大な生物学者  
となるチャールズ・  
ダーウィンは30歳の  
ころに、従兄弟のエン  
マと結婚するかどうか  
考える。

進化論のダーウィンは結婚するかどうか  
フランクリンの方法で決めた



Marry

Children — (if it Please God) — Constant companion, (& friend in old age) who will feel interested in one, — object to be beloved & played with. — —better than a dog anyhow. — Home, & someone to take care of house — Charms of music & female chit-chat. — These things good for one's health. — Forced to visit & receive relations but terrible loss of time. —

W My God, it is intolerable to think of spending ones whole life, like a neuter bee, working, & nothing after all. — No, no won't do. — Imagine living all one's day solitarily in smoky dirty London House. — Only picture to yourself a nice soft wife on a sofa with good fire, & books & music perhaps — Compare this vision with the dingy reality of Grt. Marlbro' St.

Marry — Marry — Marry Q.E.D.

Not Marry

No children, (no second life), no one to care for one in old age. — What is the use of working 'in' without sympathy from near & dear friends — who are near & dear friends to the old, except relatives

Freedom to go where one liked — choice of Society & little of it. — Conversation of clever men at clubs — Not forced to visit relatives, & to bend in every trifle. — to have the expense & anxiety of children — perhaps quarelling — Loss of time. — cannot read in the Evenings — fatness & idleness — Anxiety & responsibility — less money for books &c — if many children forced to gain one's bread. — (But then it is very bad for ones health to work too much)

Perhaps my wife wont like London; then the sentence is banishment & degradation into indolent, idle fool —

- このフランクリンの方法が道徳にも使えるか？議論が必要。（具体例はのちに示す）
- とりあえず関係する論拠・理由のリストアップは重要。特に、自分と反対の意見をよく考える。
- 一人では抜けが多く、さまざまな理由や幅広い意見を考えだすことが難しい。ディスカッションが必要。